

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 サイバーコム株式会社

コード番号 3852 URL <http://www.cy-com.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船津 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 中山 直人

TEL 045-312-3271

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,593	25.2	107	—	120	—	70	—
23年3月期第1四半期	1,272	△16.7	△61	—	△40	—	△30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	35.03	—
23年3月期第1四半期	△15.03	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,838	2,884	59.6
23年3月期	4,721	2,862	60.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,884百万円 23年3月期 2,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	24.00
24年3月期	—					
24年3月期(予想)		0.00	—	24.00	24.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	5.6	110	—	125	9.0	70	7.5	35.28
通期	6,400	1.5	210	5.8	222	△34.7	124	△36.3	62.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年8月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 会計方針の変更は、会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合に該当します。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	2,005,400 株	23年3月期	2,005,400 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	2,005,400 株	23年3月期1Q	2,005,400 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第1四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災により企業の生産活動の停滞や個人消費の弱含み、更には原発事故に伴う電力供給の問題等、懸念すべき問題が多く、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当業界においては、クラウド・コンピューティングの国内市場が急速に拡大するなか、スマートフォンやタブレットPC等、高速処理が可能なモバイル端末の急速な普及や次世代高速無線通信(LTE)のサービス開始による通信の更なる高速化・大容量化の実現等により、モバイル端末でクラウドを利用する「モバイルクラウド」という新たな分野の環境が急速に整備され、今後の市場の創造、拡大が期待される状況にあります。

このような状況下、当社は業界のニーズに対応すべく今後の進展が見込まれる分野への案件獲得に注力すると共に、リピートオーダーの確保や新規顧客の開拓等積極的な受注活動を推し進めてまいりました。また、更なる品質向上、生産性向上への取組みに努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高15億93百万円(前年同期比25.2%増)、営業利益1億7百万円(前年同期は営業損失61百万円)、経常利益1億20百万円(前年同期は経常損失40百万円)、四半期純利益70百万円(前年同期は四半期純損失30百万円)となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

## (ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高14億32百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益2億2百万円(前年同期比315.9%増)となりました。内訳として、通信ソフトウェア開発は、LTEの開発、スマートフォンのアプリケーション機能開発、新世代ネットワーク向け技術OpenFlowを活用したソフトウェア開発等の案件を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、海外向け複合機やプリンター、車載系システム、デジタルカメラの開発等の案件を中心に受注を拡大いたしました。また、ソリューションは、キャリア系基幹ネットワークの大規模統合等の案件を中心に受注いたしました。

## (サービス事業)

サービス事業は売上高1億61百万円(前年同期比115.4%増)、営業利益19百万円(前年同期比452.6%増)となりました。クラウド化の潮流に伴い、構築・保守・運用サービス(SIサービス)に特化した組織に集約したことでネットワークやサーバの構築案件を効率的に受注いたしました。更に「Cyber-SmartCTI」を中心とする自社ソリューションの受注を拡大いたしました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて1億16百万円増加(2.5%増)し48億38百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少7億4百万円、受取手形及び売掛金の減少2億44百万円、短期貸付金の増加10億1百万円、繰延税金資産の増加57百万円によるものであります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて94百万円増加(5.1%増)し19億53百万円となりました。その内訳は、流動負債が75百万円増加(7.9%増)し10億37百万円となり、固定負債が18百万円増加(2.1%増)し9億15百万円となったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて22百万円増加(0.8%増)し28億84百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月10日発表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成23年8月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社において、従来建物を除く有形固定資産については定率法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、親会社である富士ソフト株式会社が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更することに伴い、親子会社間の会計処理を統一するため、また、当社の保有資産を見直した結果、当社の資産は、概ね耐用年数内において使用の頻度がほぼ同じであり、定額法がより経営の実態を適切に表していると判断したことから、変更したものであります。

これにより、従来の方法と比較して、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ0.6百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,035,902	1,331,874
受取手形及び売掛金	1,519,781	1,274,934
商品	—	868
仕掛品	88,645	101,867
短期貸付金	—	1,001,205
その他	259,441	310,037
流動資産合計	3,903,771	4,020,787
固定資産		
有形固定資産	253,672	254,169
無形固定資産	49,630	45,344
投資その他の資産	514,685	517,916
固定資産合計	817,988	817,429
資産合計	4,721,759	4,838,216
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	86,970	65,344
未払費用	154,096	525,075
未払法人税等	208,146	120,028
賞与引当金	367,312	163,480
役員賞与引当金	8,308	3,435
その他	137,363	160,489
流動負債合計	962,197	1,037,853
固定負債		
退職給付引当金	871,037	895,086
役員退職慰労引当金	25,701	20,323
固定負債合計	896,738	915,409
負債合計	1,858,936	1,953,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	399,562	399,562
資本剰余金	307,562	307,562
利益剰余金	2,155,698	2,177,829
株主資本合計	2,862,823	2,884,954
純資産合計	2,862,823	2,884,954
負債純資産合計	4,721,759	4,838,216

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,272,290	1,593,088
売上原価	1,050,386	1,235,765
売上総利益	221,904	357,322
販売費及び一般管理費	283,222	249,797
営業利益又は営業損失(△)	△61,318	107,525
営業外収益		
受取利息	1,497	1,890
助成金収入	18,830	9,782
その他	694	927
営業外収益合計	21,022	12,600
経常利益又は経常損失(△)	△40,296	120,126
特別利益		
貸倒引当金戻入額	26	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
固定資産除却損	—	51
特別損失合計	—	51
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△40,269	120,074
法人税、住民税及び事業税	1,937	115,646
法人税等調整額	△12,061	△65,832
法人税等合計	△10,123	49,814
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,145	70,260

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
該当事項はありません。